



平成 27 年 6 月 1 5 日

校長室便り

文責 小川小 福本憲穂

運動会（5月24日（日））準備から片付けまでお世話になりました。

おかげにより、絶好の運動会日和にも恵まれ、無事盛会裏に終えることができました。子供達も精一杯の演技や競技ができ、多くのことを学びました。

特に運動会前の2週間あまりは、お家での体調管理など有難うございました。来賓・地域、敬老の方々も、多くお出でいただき、閉会までも多数残って応援いただき、おほめの励ましをいただきました。

運動会も含めて学校行事は、成功したときの達成感での成長と共に、それまでの準備、練習等での学びが大事です。短い期間でしたが、子供達は、ご家庭での励ましを受け、先生といっしょに頑張り、大きく成長したことがよく分かる運動会でした。

子供達の代表として、赤白の団長の感想を後ろに載せました。ご家庭での励ましに、ぜひ活用ください。



6月は、「心のきずなを深める月間」です

いじめのない学校をめざして、県下全部の学校で重点的に取り組む月間です。学校だけでなく、家庭・地域でもよろしく願います。学校では見えないこと気付かないこともあります。加害にも被害にもならないよう、何か気付かれたらすぐにお知らせください。日頃の「自分の大切と共に、自分と同じように人を大切にする心、言動を育む、家庭・地域・学校の教育推進」とともに、早めの対応が必要です。

小川小学校では、道徳や人権学習の授業、心のきずなを深める集会、アンケートの実施、教育相談、縦割り班活動、先生方からの呼びかけ等を重点的に実施します。

～『私から 行動でしめすおもいやり 小川っ子』～

6月は、「食育月間」です お子さんは、何でもよく食べられますか。食べることは、やさしく頑張る心と体の成長に直結します。一緒につくる、「おいしいね」と言って、家族みなで食べる、を実行しましょう。

～『がんばろう しっかり食べて しっかり鍛える 小川小』～

運動会・応援団長の感想

白団団長 谷口けいた 君

ぼくは、団長として最後の運動会を終え、まず、白組のみんなと優勝できてよかったです。午前中は、白組が負けていましたが、午後から、リレーで逆転勝利でした。なぜ、優勝できたのか。それは、みんなの協力があったからです。練習のとき、おこったり、ほめたりしてきて苦労しました。でも、白組のみんなは、一生けん命取り組んでくれました。白組の目標は、赤組の声に負けない声を出すことでした。本番のときは、みんな全力を出せたと思います。全力を出せたからこそ、応えん合戦も勝てたと思います。また、ライバルだった赤組もいろんなアイデアを出していたいへん良かったと思っています。小川小学校にとっても、チームワークができて、よかったです。これから思いやりが多くなり、キラキラ学校になるようにがんばりたいと思います。みなさん、運動会お世話になりました。みなさんのおかげでいい運動会になりました。ありがとう。これからはぼくもがんばりますので、みなさんもがんばっていきましょう。最後にもう一度、白組のみんなに感謝します。白組のみなさん協力してくださり、ありがとうございました。



赤団団長 濱田ゆうき 君

ぼくが団長として感じたことは、まわりを引っぱっていくことの難しさです。今までの団

長さん達がどれだけすごかったかが、とても分かりました。ぼくは、周りを引っぱっていく力をもっとのばしたいと思いました。団長をして良かったこともありました。それは、「あっ、団長さん！」と声をかけてくれる人が出てきたことです。特に低学年の人達が声をかけてくれました。だからみんなと話す時間がふえました。これはとてもいいことでした。



白団のすごさも感じました。団長の谷口君を中心にいろいろなアイデアを使っていました。それに応援合戦の時間もいいタイムでした。赤団も白団に勝っているところもありました。それは声の大きさです。みんながせいいっぱいの声を出していました。赤組のみんなが、せいいっぱいやってくれたのでみんなに感謝しています。ありがとうございました。ぼくは、この団長をけいけんし、学校のリーダーのそんざい（の一人）になりました。それは、谷口君も一緒です。団長はこれで終わってはいけないと思います。

みんながいっしょうけんめい助け合いながらすばらしい運動会ができたと思います。その中でも6年生が一番出来ていたと思います。もちろん、他の学年もとてもがんばっていました。これからいろいろな行事があるけど6年生を中心にがんばっていきましょう。

宇城市戦没者追悼式（せんぼつしゃ ついとうしき）

：5月30日（土）ウイングまっばせ』に参加しました

～小川小の代表として6年の高野かいと君と竹村みゆさんが、参加～

この式典は戦争に行って亡くなられた方のご家族（ご遺族）が主な出席者です。市長様、議員様他、多数の来賓の中、ご冥福を祈る追悼と二度と戦争を起こさないための頑張り、戦後復興の日本の頑張りを讃え、また誓いました。

今年は、市内全部の小中学校の代表も一緒に献花をしました。



6年 高野かいと 君

ぼくは、5月30日に「宇城市戦没者追悼式」に行きました。小川小学校は僕と竹村さんが代表として行きました。小川小代表で献花をしました。宇城市の小学校、中学校、来賓の方々などたくさんの方がいらっていました。

今年は太平洋戦争が終戦して七十年目でした。そして、式では不知火中学校の人達がマンドリン演奏で「千の風になって」と「ふるさと」を演奏してくださいました。

ぼくは、このような体験ができて良かったです。めったにない機会なのでうれしかったです。ぼくのひいばあちゃんは、長崎で原爆があったときは、そこで、看護をしていたので、ぼくのひいばあちゃんは戦争体験者になります。戦争はしてはいけないと思います。僕は防衛省に入るのが夢ですが、戦争だけは絶対にしないようにしたいです。



この体験して命の大切さや平和は当たり前じゃない（みんなの日ごろの努力）ということを学びました。もしもまたこういう機会があれば、ぜひ、積極的に参加していろいろなことを学び、一日一日を大切に生きていきたいと思います。

6年 竹村みゆ さん

わたしが、「宇城市戦没者追悼式」で思ったことは、平和での願いのときに三角小学校の六年生が発表した作文です。それは、自分のひいおじいちゃんが太平洋戦争へ行ったことを知り、戦争のことを本で調べ、命の尊さ、戦争を二度と起こしてはいけないことを次の世代に伝えたいという作文でした。私はこの作文を聞いて、私も次の世代の人達に、命の尊さ、戦争を二度と起こしてはいけないことを伝えて、平和で、みんなで協力する国、みんなで協力する世界にしていきたいと思いました。



7月行事から・・・ 1日（水）一斉下校

2日（木）宇城市学校訪問

9日（木）授業参観日

10日（金）集金日

15日（水）貯金日

17日（金）前期前半終了

夏期休業日・・・ 7月18日（土）～8月30日（日）